



## TOKUSHIMA COFFEE WORKS 有限会社オハラ 代表取締役 小原健亮

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	環境配慮型サービス・製品の提供	持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進します。	① 現地に足を運び、信頼できる農園から直接買い付けたプレミアムなコーヒー豆の提供	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 13 気候変動に具体的な対策を
			② 2025年までにフェアトレードの精神に則ったコーヒー豆の導入率70%	 12 つくる責任 つかう責任	
環境・経済	地産地消の推進	地域産の材料・食品・製品などの地域資源を積極的に活用し、地産地消・地産外商を推進します。	①(1)地元食材を使ったメニューの店内提供・テイクアウト販売 (2)地域産の食材や旬な食材を生かした季節限定メニューを提供	 11 住み続けられるまちづくりを	
			②(1)オーダー数(店内)・テイクアウト販売を2025年までに30%増加 (2)季節メニューの提供(年4回3種類以上)	 17 パートナーシップで目標を達成しよう	
環境・社会	フードロスの削減	フードロスの削減に向けて、企業として取組みを行い、フードバンクやフードドライブを積極的に推進します。	① 在庫管理と食品廃棄量の把握徹底による食品ロスの削減	 12 つくる責任 つかう責任	
			② 2025年までに50%削減(2022年比)	 13 気候変動に具体的な対策を	
環境・経済	生物多様性への配慮	持続可能な社会の実現のため、自社の事業において生物多様性への配慮に努め、取組みを推進します。	①(1)ギフト・物販商品のニーズに合わせたサステナビリティ包装の対応 (2)環境配慮型製品(FSC認証)の導入	 8 働きがいも経済成長も	 14 海の豊かさを守ろう
			②(1)2025年までに100%対応 (2)2025年までに50%導入(店内製品/テイクアウト商品)	 11 住み続けられるまちづくりを	 15 陸の豊かさも守ろう

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



#### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。